

track 1：本日からお仕えする、性処理メイドです。

//エレン：

若様、失礼いたします。本日より新しい性処理メイドが着任しましたので、ご挨拶をさせたいと思うのですが、よろしいでしょうか？…はい、急な話でございます

//シャノン：

失礼いたします。本日より若様の性処理メイドを務めます、シャノンと申します

//エレン：

驚かれたか？ はい、このメイドは昨日まで若様の許嫁を務めておりました、あのシャノンでございます。父親の事業が失敗して没落し、娼婦に堕ちる予定のところを、旦那様が憐れんで購入されたそうです

//シャノン：

エレン様の仰る通り、昨日までは恋人として過ごさせていただきました。キスを初めとした性的な行為を捧げず、大変に失礼を申し上げました

//エレン：

うふふ、でも今日からは私と同じ性処理メイドですね。若様、この女の処女を今すぐ奪ってあげて下さいませ。シャノン、着任のご挨拶として、若様のおちんぽを咥えなさい

//シャノン：

はい、エレン様。若様、おちんぽをお出しさせていただきます

//エレン：

まあ、すごい勃起。処女を貫けることへの興奮が伝わってきますわ。シャノン、まずは服従の口付けをして、それからしゃぶりなさい

//シャノン：

はい。では、失礼いたします。んちゅつ、ちゅつ、んむつ、ちゅつ

//エレン：

唇ではなく、おちんぽに初めてのキスを捧げる。自分がここまで堕ちたんだということを実感できて、とても素敵でしょう？ シャノン、そのまましゃぶりなさい

//シャノン：

はい。んむっ、れろっ、んむっ、じゅるっ、んぐっ、んじゅるっ

//エレン：

若様。昨日までの恋人におちんぼをしゃぶらせるの、興奮されるでしょう？どうですか、シャノン。恋人だったお方のおちんぼのお味は

//シャノン：

んじゅるっ、んぶっ、んじゅっ、ぶはぁ…っ、とても遅しくて、美味しいおちんぼです。お仕えできることの幸せを感じながら、しゃぶっております

//エレン：

良い返答ですよ。シャノン、今のうちにオナニーをして濡らしておきなさい。

//シャノン：

はい。んぁっ？♡ んうっ、ぁっ、やっ、こんなぁっ♡ おちんぼもしゃぶらないと、んじゅっ、じゅるっ、んうっ♡ やぁっ、私、こんな女では…♡

//エレン：

とても良い淫乱ぶりですね。若様、今日からこの女は性処理メイドです。私にしていることを、全部してあげて下さい…精液、出そうですか？ では顔にぶっかけてあげて下さい。堕ちた女の運命を、淫らに塗りつぶしてあげて下さい

//シャノン：

んじゅるっ、んぐっ、んぐっ、じゅるう…ぶはぁっ、お願いします。顔を汚して…あぁっ、出たぁっ、精液がかかっているの、分かります♡

//エレン：

すごいですわ、こんなに射精されて。ほらシャノン、お礼を言いなさい

//シャノン：

はい。若様、性処理メイドの顔に精液をいただき、ありがとうございました。すごく力強い匂いで、私が若様の所有物としてお認めいただけたことを、実感しております

//エレン：

素敵な感想ね、シャノン。では次は、処女まんこを使ってご奉仕しましょうね。顔に精液を浴びたまま、処女を喪うのですよ

track 2：どうか、無造作に処女を散らしてください。

//エレン：

シャノン、おまんこの準備はできましたね？

//シャノン：

はい。若様のおちんぽをしゃぶりながら、はしたなくオナニーをして濡らしました

//エレン：

では性処理メイドらしく処女を喪失しましょう。下着を脱ぎ、壁に手をついて、お尻を突き出さない。私たちの処女喪失に、ベッドは相応しくありません

//シャノン：

おちんぽを挿入いただくご準備が整いました

//エレン：

まあ若様、まだこんなに勃起されて。恋人だった女の一度きりの処女奉仕を、ご堪能下さい

//シャノン：

若様…私は昨日までの思い出を、忘れるつもりはありません。だけど…今の私は、貴族令嬢ではなく、ただのメイドです。だから…どうか、お傍にお仕えし続けるためにも、私を粗雑に扱って下さい。優しさではなく、恥辱をお与え下さい。無造作に処女を貫いて、性欲処理にお使い下さい

//エレン：

素敵よ、シャノン。でもあなたは口やおまんこを使って精液を排泄してもらうのがお仕事になるのですから、もっと淫乱なおねだりをなさい

//シャノン：

はい。おまんこにおちんぽをぶち込んで、処女膜をぶち破って下さい。レイプするみたいに犯して下さい

//シャノン：

うっ、くっ、んああっ。おちんぽが入ってくるの、分かります…んううっ

//エレン：

一生に一度の処女奉仕です。思い出に残るよう、無惨に引き裂いてあげて下さい、若様。
それが、私たち性処理メイドの生き様なんです

//シャノン：

奥まで入りました…処女を貰っていただいて、ありがとうございます

//エレン：

若様、無遠慮に動いてあげて下さい。私にしたときみたいに、そう

//シャノン：

んんっ、ああっ、若様のおちんぼ、大きいです

//エレン：

素敵ですね、若様。覚えていらっしゃるでしょうか？没落して買われ、性処理を命じられた
私を組み敷いて、性欲のままに私を犯した時のことを…責めてはおりません。性処理メ
イドはそのような生き物です

//シャノン：

あっ、あっ、若様ぁ♡

//エレン：

まあ、もう感じてるの？淫乱ね、シャノン

//シャノン：

だって、おちんぼが気持ち良すぎてえ♡

//エレン：

良いのよ、たくさん甘えなさい。でも恋人のように振る舞うのだけはダメよ？

//シャノン：

はい。あっ、んあっ、痛いのにっ、気持ち良いっ♡

//エレン：

とても良い堕ち方よ。若様、淫乱なメイドにご褒美をお与え下さい。はい、もちろん精
液です。シャノン、おねだりしなさい

//シャノン：

若様あ、ちゃんと処女ご奉仕できたご褒美に、精液下さい♡恋人だった女の性処理おまんこに、精液流し込んで下さい♡

//エレン：

そこはね、おまんこじゃなくて肉穴の方が、若様の好みよ

//シャノン：

肉穴に精液を排泄して下さい♡昨日まで貴族だった女の穴を使って、どぴゅどぴゅ出して下さい♡

//エレン：

さあ若様、たっぷりを出してあげて

//シャノン：

んあぁっ、精液出てるの、分かりますう♡ メイドの肉穴に、排泄してくださってます。あっ、おちんぼ抜かれちゃう♡

//エレン：

すごい量ですね、若様。おちんぼを抜いたらこんなにドロドロ…何をしているんですか、シャノン。その場に平伏して、性欲処理のお礼を言いなさい

//シャノン：

若様。本日は処女奉仕に肉穴をお使いいただき、ありがとうございました。シャノンは本日より性処理メイドとしてお仕えますので、どのようなご命令でもなさってください

//エレン：

よくできましたよ、シャノン。では2人で、若様のおちんぼを清めましょう。その後は、私も一緒にベッドでご奉仕をします。メイドとしての下品な鳴き声を、教えてあげますね？

track 3：さあ、一緒に下品な鳴き声を響かせましょう？

//エレン：

さあ、シャノン。若様に貰っていたいたおまんこをお見せして、おねだりなさい。くばあと下品に開いて、浅ましく媚びるのが性処理メイドの義務ですよ

//シャノン：

はい。若様、先程は処女まんこに精液を排泄していただき、ありがとうございました。娼婦以下の淫乱なメスを、引き続きお使い下さい

//エレン：

上手よ、シャノン。貴族令嬢よりも娼婦の方が、才能があったようね。では若様、まずは私を後ろから貰いて下さいませ。シャノンに、下品な鳴き声を指導したいと思います

//エレン：

おほおおっ、若様ちんぽおっ♡ 男らしい交尾セックスで、おまんこがもう屈服しちゃってますう♡ もっと、もっとお♡ おまんこの奥、じゅぼじゅぼしてえっ♡ あゝ あゝ あゝ、おほっ…んぎいっ♡ おちんぽ様しゅごいい♡ あゝ、あゝ あゝ、おゝ ほおおっ♡

//シャノン：

すごい、これが性処理メイドの鳴き声…

//エレン：

何をしてるの、シャノン、おゝ ほおおおっ♡ 舌で乳首や首筋を愛撫なさい、んほおおっ、イグ…イグうッ♡

//シャノン：

はっ、はい。若様、失礼いたします

//シャノン：

れろっ、んちゅっ、れろお…ああ、昨日まで手を握るだけだったお方に、このようなご奉仕をするなんて…私は、本当に性処理メイドに堕ちたのですね、んむっ、れろお…

//エレン：

自分から若様とキスをしたらダメよ、シャノン。ん` おおっ、またイグうっ…性処理メイドのキスは、足とおちんぼにするものです

//シャノン：

若様、私の愛撫は気持ち良いですか？…そうですか、嬉しいです。今日からたくさん、ご奉仕をご命令下さい

//エレン：

う` おおっ、お` ほおおっ、あへっ…えひっ♡ んっ、あぁっ、アナルに指を挿れられたらまたイグうっ♡ ん` おっ…お` おおおっ、屈服アクメ、いぐっ、いぐいぐいぐうううっ♡

//シャノン：

エレン様、とても淫らで、素敵です。はい、今から私が同じように無様で下品な声を出して、若様に犯していただくのですね

//エレン：

はぁ、はぁ…そうよ。貴族令嬢としての誇りをかなぐり捨てて、性処理メイドの本懐を果たしなさい

//シャノン：

はい。若様、どうか処女を喪った元恋人に、おちんぼをお恵み下さい。交尾して下さい

//シャノン：

ん` あぁっ、若様のおちんぼ、すごいですっ。んおっ、あ` あぁっ、おほっ♡（少し間を開けて）ん` ううっ、あ` おっ、おほおおっ♡

//エレン：

もっと下品に。今のあなたは貴族でも人間でもなく、性処理メイドなのです。さぁ、もっと激しく、そうよ、無様に、淫らに鳴きなさい

//シャノン：

はい。若様、どうかご遠慮なくじゅぼじゅぼ犯してください…お` おおっ♡ んおっ、お` っ♡ おちんぼ様で、おまんこが壊されちゃいますっ♡ あっ、あへっ…んぎいっ♡ いっ、イグっ♡ 本当に、イグ、いき…ます、お` ほおおおおっ♡

//エレン：

まあ、とっても無様。良かったですね若様、こんなに綺麗で淫らな新品の肉人形を、お与えいただいて

//シャノン：

はいっ、シャノンは肉人形で、性欲処理用の肉穴です、んほおおっ、おゝおう♡ 服従したご褒美に、精液を下さい♡ 恋人だった性処理道具の肉穴に、容赦なく排泄して下さい…あぁっ、おちんぽミルク来たぁっ♡

//シャノン：

はぁ、はぁ…おまんこを使っていたき、ありがとうございました

//シャノン：

お掃除をさせていただきます…んちゅっ、れろおっ、あむっ

//エレン：

私も一緒に清めますね。れろおっ、じゅるっ、あぁ、とてもいやらしいお味です。んじゅっ、じゅるっ、れろお

//シャノン：

私も精一杯、おちんぽにお仕えいたします。んじゅるっ、れろお、じゅるっ、べろり

//エレン：

まだ勃起されますか？では、次は私どもを交互に突いてお楽しみ下さい…

track4：先輩として、おっぱいだけは負けませんよ？

//エレン：

さあ、起きなさい、シャノン。性処理メイドはメイドとしての仕事もあるのですよ？精液を拭ったら、他のメイドと同じように朝のお仕事をしてきなさい

//シャノン：

はい。粗相をして申し訳ございません、エレン様。失礼いたします、若様

//エレン：

若様、シャノン様はとても素晴らしいお方ですね。ご自分の境遇を嘆くことなく、堂々と若様に服従し、性処理メイドとしてのお務めを果たされました。では朝のご奉仕は、私が務めさせていただきます。うふふ、おっぱいの大きさだけは、シャノン様には勝ちましたね。では、挟みます

//エレン：

んちゅっ、れろおっ、いつもより雄々しい勃起です。オスの匂いも立ち込めて…シャノン様を犯されて、興奮されたのですね。んぶっ、じゅるっ、はぁっ♡ あっ、今朝はおまんこをお使いになられますか？

//エレン：

いつも通り、ご準備は整えております…んっ、あぁっ、こんなに硬くされて♡

//エレン：

んっ、すごいですっ、若様♡…どうか、そのままお聞き下さい。シャノン様のことを愛していることは、存じております。 んっ うっ、おおっ♡ ですがどうか、性処理メイドとして愛してあげて下さいませ。肉穴を使って交尾して、精液を排泄なさって下さい

//エレン：

あっ、そんなに犯されたら…おっ おおっ♡ おほおっ、イグうっ♡…はい、次は対面座位ですね。失礼いたします

//エレン：

んゝ ああっ、深いっ♡ …ご存知のように、シャノン様は残念ながら貴族の地位に戻ることはできません。若様が性処理メイドとしてお使いにならないと、お傍にすることすらできません。おほっ、んぎいっ♡ 奉仕する肉人形としての幸せをお与え下さい。あゝ
ああっ、いぐっ、またイグうッ♡

//エレン：

ええ、そうです。かつて私が若様の従姉だったように、恋人だった女も、墮としてあげて下さい。私どもは一生…んあゝっ、おまんこしか価値のない女ですので…おほおっ♡
あっ、激しいっ、射精されるのですね。従姉だった性処理メイドに、お情けを下さいっ♡

//エレン：

んほおおおっ♡ いつもよりたくさん、射精されて…♡ ではそろそろ、登校のお時間です。良いわね？　くれぐれも、情けをかけたらダメよ？　学園でもしっかりと凌辱して、私たちに恥辱を与えてね？

track5：今日からの義務は、学業ではなく性処理です。

//シャノン：

おはようございます、若様。本日から、エレン様と私が一緒に登校して、ご奉仕をさせていただきます。

//エレン：

シャノン、制服ではなくメイド服に袖を通して、学業のためではなく奉仕のために登校する気持ちはどうかしら？

//シャノン：

はい。昨日までは若様の横を歩いていたのに、本日は3歩後ろを歩く…不思議ですが、嫌ではございません

//エレン：

慣れなさい。授業中は私たちも、通常のメイドとしての仕事や性奉仕の実技を学びます。これまでのお昼休みは、若様はあなたと談笑して過ごしておりましたが、本日からは私たちを凌辱して過ごされるそうです

//シャノン：

はい。しっかりとおちんぼ様をしゃぶって、肉穴で奉仕させていただきます

//エレン：

よい覚悟ですよ。あともう一つ、忠告です。昨日までのご学友に会われたら、メイドとしての挨拶をなさい。向こうから友人としての関係を維持したいとご提案をいただいても、固辞するのですよ

//シャノン：

はい。私は性処理メイドであって、すでに貴族令嬢ではありません

//エレン：

そうです。私も最初の頃は辛かったですが、すぐに慣れます

//エレン：

ああ、若様の個室ではなく、トイレで初めての凌辱を選択なされるとは、百点満点よ…でございます

//シャノン：

若様のおちんぽ、大変に力強い、オスの匂いが致します

//エレン：

そうでしょう、私のおまんこに挿入して中出しして、洗ってないおちんぽよ。味わいながら、丁寧にしゃぶりなさい。私も一緒に跪いて、おちんぽや金玉にご奉仕するわ

//シャノン：

はい。んじゅっ、れろお、んうっ♡ んちゅっ、れろっ、べろお

//エレン：

上手よ。れろお、べろお、じゅぼっ♡ じゅるっ、じゅぼっ、れろお…どうかしら、美味しい？

//シャノン：

はい、とても美味しいおちんぽ様です

//エレン：

性処理メイドはね、こうやってお仕えするの。恥辱はご褒美だと思いなさい…そうね、シャノン。若様に喉奥を突いていただきましょう。イラマチオ奉仕をなさい

//シャノン：

承知しました…ですが、どのようにおちんぽにご奉仕すればよろしいでしょうか？

//エレン：

大丈夫よ。あなたは歯を立てないように注意しながら、若様に蹂躪されなさい。たくさん苦しむ声を奏でて、若様の劣情を刺激するのよ。あなたが苦しみながら奉仕するほど、若様は女を服従させる快樂を得られるの

//シャノン：

それが、性処理メイドの奉仕なのですね。若様、お願いします。私を憐れむ気持ちがありでしたら、躊躇いなく喉奥を突いて下さい…うぐおっ、ぐぼおっ？！

//エレン：

上出来よ、若様。シャノンをたっぷりと苦しめてあげて

//シャノン：

うぐえっ、ぐぶうっ、んゝ ううっ、ぐぶっ、むぐおっ、ぐお…っ

//エレン：

ほらシャノン、性処理メイドはイラマチオをいただきながらオナニーをするものよ？
ちゃんと自分でおまんこを濡らして、次の準備をなさい

//シャノン：

んぐうっ、んぐえっ、うごおっ…ぷはあっ、げほっ、ごほっ…ありがとうございます、
若様

//エレン：

最初にしては上出来よ。では若様、次は私を…んぐうっ、ぐぶっ、んぐえっ♡

//シャノン：

すごいです、エレン様。こんなに激しいのに、気持ち良さそう

//エレン：

んぶっ、むごおっ、んぐえっ♡ ぐぼっ、ぐべえっ、うぐおおっ♡

//シャノン：

はい、耳への愛撫ですね…

//シャノン：

若様、先程はありがとうございました。恋人だった女でも性処理の道具として扱っていただけただけ、とても嬉しかったです。

//エレン：

んごおっ、んぶえっ…ぷはあっ、では若様、時間もございませんので、おまんこ奉仕に移ります。シャノン、私と並んで、四つん這いでお尻を突き出しなさい。交互におまんこを突いてお楽しみいただきます。ここは外ですので、下品な声ではなく甘い声で鳴くのですよ

//シャノン：

はい、エレン様。若様、私の性欲処理用おまんこもお使い下さい。勃起したおちんぽをぶち込んで、気持ち良くなったら精液をどぴゅどぴゅして下さい。将来、若様のお子を孕むはずだったおまんこは、精液排泄用の便器に生まれ変わっております

//エレン：

まあ、自主的に自身を貶める発言は、とても立派ですよ、シャノン…

//エレン：

んうっ♡ まあ若様、私のおまんこからじゅぼじゅぼして下さるのですね。あっ、はあっ、おちんぼ気持ち良いですか？ もっと犯して、おちんぼ気持ち良くなって下さい♡

//シャノン：

エレン様、とても気持ち良さそうです

//エレン：

ええ、若様のおちんぼに犯されてる時が、一番幸せ…んあっ、んうっ、若様あ…♡ おちんぼ、もっとずぼずぼして下さいね♡

//シャノン：

んぐうっ♡ おちんぼが遠慮なく、私の肉穴を犯して下さい…あっ、ふああっ♡ 昨日まで生徒だった学園のトイレでっ、四つん這いになって、んうっ、おちんぼおっ♡ 便器のような扱いを受けて…おちんぼぶち込まれてえ…っ♡ シャノンは、とても幸せです♡ もっと、もっと犯して下さいっ♡

//エレン：

うゝ うっ、若様の指が、3本もおっ♡ おまんこ気持ち良すぎて、蕩けてしまいますわ♡

//シャノン：

もっとお、シャノンのおまんこもエレン様みたいに虐めて下さい♡

//エレン：

んおっ、ああっ、指もすごくてっ♡ シャノンを犯して、興奮してらっしゃるのね？

//シャノン：

若様あ♡ おちんぼセックス、ずぼずぼされて、おまんこ、おまんこがあっ♡

//エレン：

あっ、お尻の穴まで…っ♡ おまんこも、お尻も気持ち良いのお♡

//シャノン：

ずるいです♡ シャノンのお尻の穴も、指で虐めてくさ…おっ おっ♡

//エレン：

ダメよ、下品な声は。もっと甘い声で、若様の耳を蕩けさせないと、んううつ♡

//シャノン：

あっ、おちんぼ抜いたら嫌なのお♡

//エレン：

きたあっ♡ 若様のおちんぼ、ぶち込んでくださって嬉しいです♡

//シャノン：

あっ、指ちんぼも気持ち良いですっ♡

//エレン：

うふふ、従姉だった女と、恋人だった女を蹂躪するのは素敵でしょう？

//シャノン：

えっ、エレン様は若様の…従姉だったのですか？

//エレン：

そうよ。でも今はあなたと同じ、性欲処理用の肉人形よ。仲良く一緒に堕ちましょうね？

//シャノン：

はい、エレン様が一緒だと、とても心強いです…んっ、ちゅっ、んう…っ♡

//エレン：

んちゅっ、じゅるっ、若様、このままどうか、射精を…あっ、すごっ、来るのっ♡ 激しく犯されてっ、屈服アクメ来ちゃう♡ イグ、いぐ、イグイグウウウ！

//エレン：

ああっ、エレンのおまんこに処理していただき、ありがとうございます

//シャノン：

すごい射精…若様、どうかシャノンにイラマお掃除をさせて下さい…んじゅっ、じゅるっ、むぐっ、んぐおっ、ぐぶえっ♡

track6：愛しているなら、恥辱を与えて。

//シャノン：

本日の性奉仕は私一人ですか？ 承知しました。ではまずはおちんぽを…えっ、キスからですか？ 昔の恋人に戻ってセックスをしたい？…ご命令でしたら従います

//シャノン：

では…あのね。これって、私にとっては酷なことだからね？ 私はもう本当の恋人には戻れないの。あなたのお父様は厳しい方よ。性処理メイドとして買われたけど、私があなただけにとって有害だと思われたら、すぐにでも娼館に売られるわ

//シャノン：

だから、性処理メイドとしての運命を全うさせて。私も傍にいたいよ。でもそれは、性処理の道具としてなの。私を愛しているなら、皆の前で恥辱を与えて。従順で淫らな性処理メイドであることを証明させて

//シャノン：

…うん、ありがとう。じゃあ、キスするね。ちゅっ…んっ、じゅるっ、んうっ、ぷはぁっ、すごく甘いね。ごめんね、恋人だった時はキスもしてあげられなくて。でも、エレン様が従姉だったなんて、知らなかったな…そう、あの方も大変だったんだね。私たち、とっても仲良しだから。精一杯、お仕えするね。

恋人のセックスってどんなことをすれば良いのかな？ うん、またキスだね？ んっ、じゅるっ、んうっ…んふふ、おちんぽ、すっごく硬い。もうこれで孕むことはできないけど…しゃぶっても良いかな？

//シャノン：

えっ、私のおまんこも舐めるの？ やだ、恥ずかしいよ…あっ♡ 舌が、おまんこザラザラしてえ…んっ、ふぁっ、おちんぽ舐めなきゃ…んぶっ、じゅぶっ、じゅぼっ、んうっ♡…うん、もちろんだよ。私も大好き。愛してるよ。

//シャノン：

うん、挿れたいんだね。じゃあ、よろしくお願いします。恋人の私に、最初で最後の愛を与えて下さい

//シャノン：

あっ…！ うん、キスしながらセックスしよう。んちゅっ、んちゅっ、んむっ、じゅるう…愛してる。愛してるよ。

//シャノン：

だから…もう、こんなに優しくするのは最後にしてね？ ううん、嬉しいよ。でも、切ないの。悲しいの。それに、新しい婚約者を持つことになるでしょう？ 前の女が未練がましかったら、その子に悪いもの

//シャノン：

んっ、ふうっ…おちんぼ気持ち良いよ。もっと抱きしめて、キスして。うん、たくさん言ってあげる。好きだよ。大好きです。愛しています。愛してるよ。私の心は、ここに置いていきます…んうっ、うん、そこが気持ちよいの…♡

//シャノン：

あっ、射精しそうなの？ 出して。あなたの気持ちで、私をいっぱいにして。あっ♡ おまんこの中に、たくさんどぴゅどぴゅって出してほしいの…あぁっ、来たぁっ♡

//シャノン：

たくさん出てるの、分かるよ…んっ、んちゅっ、うん、まだしたいんだよね

//シャノン：

んちゅっ、れろお、良いよ、~~オオ君~~にハメ潰されてあげる。でも成績を落として、私が娼館に売られちゃわないようにしてね？…あぁっ、まだこんなにおっきいの？…んぁっ♡

//シャノン：

愛してるよ、~~オオ君~~…でも、明日からは性処理メイドのシャノンをお使い下さいませ。では、お休みなさい